



旭中通信

練馬区立旭丘中学校
学校通信 11月号
令和元年11月1日発行

〇〇の秋～笑顔あふれる旭中生～

校長 渡邊 重幸

「〇〇の秋」について、1年間で新聞紙面に登場した回数を調査した結果がありました。1位が「実りの秋」2位が「芸術の秋」3位が「食欲の秋」4位が「スポーツの秋」5位が「読書の秋」次いで、「収穫の秋」、「行楽の秋」、「紅葉の秋」、「音楽の秋」…でした。

本校でもいろいろな秋を見付けました。まずは「芸術の秋」です。26日(土)に三行きの一つ、「文化発表会」を開催しました。生徒は舞台発表部門と展示部門に分かれて取り組みました。スローガンは「^{ほんかせいほう}万花齊放」で、いたるところに花(作品)を咲かせました。

舞台発表部門の筆頭はD組です。D組の行った『貧乏神と福の神』は演技力抜群で観客の笑いを誘っていました。続いて、第1学年の「ベンチ」は銅像が生徒や先生の悩みを聞くだけでなく応答するコミカルな設定でした。合唱コンクールの練習がうまくいかずそれぞれの立場で悩んでいる題材で、3月に行う合唱コンクールを示唆しているようでした。第2学年は「ヒマワリの約束」で、本校演劇部顧問の田中恵一先生が脚本を書きました。近い将来を見据えたような作品で、人工知能をもったやさしいロボットの活躍が前面に出ていました。第3学年の「We are not alone」は、なんと生徒が台本を書きました。ほとんどすべて、生徒で作上げた作品で、旭丘中の最高学年として立派に成長した姿を見ることができました。海外派遣報告では海外派遣生2名がイプスウィッチ(オーストラリア)での生活の様子や文化の違いについてわかりやすく説明しました。演劇部は『地下室クラブの遠藤くん』を演じました。「紙の遠藤くん」が実体化して一人一人と向き合い成長を促すストーリーになっていました。翌日も区の連合演劇発表会で披露しました。最後は吹奏楽部です。台風の影響で2回の演奏が中止となりましたが、その分、3年生を中心に素晴らしい演奏をしました。会場内も笑顔があふれ大盛況でした。

展示部門は3年生の修学旅行や1、2年生の校外学習などの学年展示や、国語科、英語科、美術科、技術・家庭科など教科の作品も展示しました。どの展示も一人一人がアイデアを出し、仲間と協力して取り組んだ最高傑作ばかりでした。

続いて「スポーツの秋」です。10月10日(木)にJFA主催「こころのプロジェクト」夢先生を第2学年を対象に行いました。講師は2000年、北海道マラソン優勝、2001年、名古屋国際女子マラソンで自己最高となる2時間27分22秒を記録した市河 麻由美先生にお越しいただきました。前半は体育館で、グループで一つの目標を達成するチームワークゲームを行いました。何度も何度も挑戦しては失敗し、市河先生を中心に集まり作戦を練って、やがて成功させ、クラス全員で喜び合っていました。後半は教室に戻り、市河先生が小さい頃から夢を掴むまでの話を黒板に夢曲線を描きながら披露してくださいました。その後、生徒が夢シートに自分の夢を書き、発表しました。最後に「自分の人生に悔いはありません。なぜなら、精一杯努力してきたからです。皆さんも夢をあきらめないでください。」と力強くおっしゃっていただきました。市河先生ありがとうございました。

さて、皆さんはどんな秋を過ごしていますか。

＜文化発表会＞



＜夢先生（第2学年）＞

